



“がん”は早期発見・早期治療が何より大事！

「郵便検診」のご案内

西武健保では、今年度も『大腸がん』と『子宮けいがん』の郵便検診を実施いたします。
検診費用は西武健保が全額負担いたしますので、自己負担はありません。 検診キットを使うことにより、ご自宅で手軽に検査が受けられます。普段なかなか検診に行く時間の取れない方もぜひこの機会にご利用ください。

WEBからでもお申し込みできるようになりました！



西武健保ホームページの「新着情報」よりお申し込みください。WEBでのお申し込みができない場合は、添付の“郵便検診申込書”に必要事項を記入し、会社担当者へ提出してください。

どちらも締め切りは10月22日(金)です。



「郵便検診」の主な流れ



- ① WEBまたは郵便検診申込書でお申し込みください。申込み締め切り：10月22日(金)
- ② 検診キットがご自宅に届きます。(11月中)
 ※大腸がん検診と子宮けいがん検診は検診機関が異なるため、キットの到着は別日となります。
- ③ 検体を採取し、検体と問診票を返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。
 検体提出締め切り：大腸がん検診12月7日(火)・子宮けいがん検診12月22日(水) 必着

大腸がん検診	子宮けいがん検診
<p>検査方法</p> <p>2日間にわたり、検診キットのスティックで便を採取</p>	<p>検査方法</p> <p>検診キットの器具で膣内子宮けい部をこすり、細胞を採取</p>
<p>費用</p> <p>無料(通常2,200円)</p>	<p>費用</p> <p>無料(通常3,180円)</p>
<p>対象者</p> <p>2022年3月31日までに40歳以上になる西武健保の加入者</p>	<p>対象者</p> <p>女性の西武健保の加入者(年齢制限はありません)</p>
<p>検診機関</p> <p>医療法人社団 卓秀会 池袋藤久ビルクリニック</p>	<p>検診機関</p> <p>公益財団法人結核予防会 複十字病院健康管理センター</p>

「インフルエンザ予防接種補助」のご案内



西武健保では、今年度もインフルエンザ予防接種費用の一部を補助いたします。
予防接種の受け方や補助金の請求・支給方法は会社によって異なりますので、詳細は各会社担当者にご確認ください。

(任意継続被保険者の方は、直接西武健保までお問い合わせください。)

なお、会社が実施するインフルエンザ予防接種を受けた場合は、会社が補助金を受け取ることに同意したものとみなします。

対象者：被保険者（本人）及び任意継続被保険者（本人）

接種期間：2021年10月1日（金）～2021年12月31日（金）

（※期間内に予防接種を受けた方に限り補助金を支給いたします）

補助金額：限度額2,000円（消費税含む） ※年1回のみ

2,000円に満たない場合はその実費を補助いたします。



「インフルエンザ」とは？

風邪はさまざまなウイルスによって起こりますが、多くはのどの痛み、鼻水、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。しかし、インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。あわせて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。お子さまではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発するなど、重症になることがあります。



予防接種は12月中旬までに受けましょう！

インフルエンザが流行するのは例年12月下旬から3月にかけてです。予防接種は、受けてから効果が現れるまでに2週間程かかり、その効果は約5ヵ月間持続します。遅くとも12月中旬までには予防接種を受けるようにしましょう。

参考：厚生労働省ホームページ 「インフルエンザQ&A」より

？



予防接種を受けたのに、インフルエンザにかかったことがあります。
予防接種は効果があるのですか？

残念ながら予防接種のワクチンには、感染を完全に抑える働きはありません。

しかし、発熱やのどの痛み等の発症を抑える効果が認められている他、発症後に現れる、脳症や肺炎などの重い合併症や、入院治療を必要とするほどの重症化を予防する効果があります。ワクチンの最も大きな効果は、この重症化を予防することです。

